

●お詫びと訂正

本書 57 ページの上段に誤植がありました。正しくは下記の通りです。
お詫びとともに訂正いたします。

■ ICT 導入のねらいとメリット

教育方針の基本に「21世紀型スキル」の習得を挙げており、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、コラボレーション能力、ICT活用能力などの育成に力を入れている。

なかでもICTの活用はこれからの社会における基本スキルであり、教育活動全般に取り入れることで、習慣的に身につけさせたいと考えた。そのためには一部の特別教室だけにコンピューターがあるのではなく、全ての生徒が学校でも家庭でも簡単に使える「いつでも、どこでも、誰でも」という環境を整えることが必要である。さまざまな形態を検討した結果、教師と生徒間での情報共有が可能で、一斉学習、協働学習型の授業が展開できる電子黒板・タブレット連携システムを導入した。

その結果、生徒が参加意識を持って授業に取り組めており、協働学習、課題解決学習の実施はもちろん、動画を使った解説やインターネットの活用など、電子黒板やタブレットの機能を活かすことで、授業中の理解度も高まっている。

また、全員がタブレットを所有していることから、家庭でも活用できるようにインターネット上に教師・生徒・保護者専用の学校ポータルを設置した。自宅学習の習慣をつけることで、「自立学習者」になることが目的である。宿題教材を配信したり、英語のリスニング教材を視聴したりして毎日の家庭学習を行うほか、連絡事項の配信も行い、学校と家庭を結ぶツールとしても幅広く活用している。

